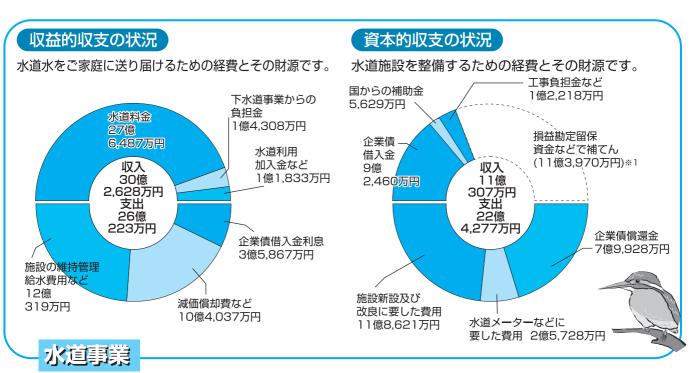
平成22年度 水道事業・下水道事業 決算のあらまし

平成22年度の水道整備事業としては、各地区の配水管の布設、泉野小学校に緊急貯水槽の設置及び高丘 浄水場に緩速ろ過池の設置などを行いました。一方、下水道整備事業では、各地区の雨水管・汚水管の整 備、西町下水処理センターの反応タンク散気設備の更新及び高砂下水処理センターのブロア油圧ポンプ補 基盤の更新などを行いました。

水道事業・下水道事業とも、今後も引き続き効率的な財政運営を図りながら、安全で良質な水道水の供給、下水道の普及、そして環境にやさしい水質保全に努力し、市民サービスの一層の向上に努めてまいります。



収益的収支の状況 資本的収支の状況 下水道施設の運転、維持管理などに関する経費とその財源です。 下水道施設を整備するための経費とその財源です。 般会計からの補助金 国からの補助金 1億874万円 -般会計からの 6億9.066万円 負担金及び補助金 受益者負担金など 11億1,525万円 水道使用料 1.933万円 25億6,223万円 企業債借入金 損益勘定留保 し尿処理 収入 収入 28億 資金などで補てん 負担金など 36億 37億 6,700万円 (12億1,813万円)※1 6.415万円 4,163万円 8,573万円 中出 支出 35億 49億 2,915万円 386万円 企業債償還金 27億8,916万円 企業債借入金利息 9億1,024万円 施設の 維持管理費など 施設新設及び 12億 減価償却費など 改良に要した費用 13億8.802万円 3.089万円 21億1.470万円 下水道事業

※1「損益勘定留保資金など」とは、現金支出を伴わない 減価償却費などの企業内部に留保された資金